

は研修修了予定者でも放課後児童支援員として認められる猶予期間を設定しておりました。本市では、令和元年度におきまして、指導員の欠員が深刻な課題であり、児童推計からも指導員不足は今後も更に深刻度を増すことが予想されます。指導員不足への対応を行いつつ保育の質を確保する必要があることから、新任の指導員につきましては、研修受講の期間を1年間猶予するよう改正しようとするものでございます。なお、附則といたしまして、この条例は、本年4月1日から施行することといたしております。説明は以上でございます。

広瀬議長：ただ今、中央図書館から議案第21号、放課後子ども育成課から議案第18号についてそれぞれ御説明いただきましたが、何か委員から御質問等ございますでしょうか。

議案第21号については、国の通知に従っての見直しということで問題ないかなと思います。議案第18号に関わって、支援員の確保に課題があるとの話でしたが、今後の取組として支援員を確保していくにあたって、展望といいますか、努力をしていきたいという内容を教えていただきましたらと思います。

山本参事：今後の指導員確保に向けた展望なのですが、採用試験を年度内に3回、4回と行っておりますが、なかなか確保にはつながっておりません。放課後子ども育成課について、対外的にこういう仕事をしています、こういう魅力がありますというのを積極的にアピールすることで注目度を上げていきたいということも一つですが、根本的に待遇の改善ということも課題としてございます。その点は、育成課だけでは対応できるものではないので関係部局と協議をしながら進めていきたいと考えています。

広瀬議長：専門性高く、質のいい仕事をしていただくためには、それなりの処遇をしないとなかなか人が集まらないということで、どこの業界でも苦勞しているところだと思うのですが、現行以上に趣旨を理解いただいて人が来ていただけるように周知の方法を工夫したいということで、どうぞよろしくをお願いします。

他に委員の方から何かございますでしょうか。

それでは御報告いただいたということで、次の次第の2「令和2年度当初予算について」を事務局から御説明をお願いします。

2. 令和2年度 当初予算について

曾谷課長代理：令和2年度 当初予算案、地域教育部所管分について御説明申し上げます。

令和2年度の地域教育部に関わる当初予算は、社会教育費と児童福祉費を合わせて、6,288,793,000円となります。令和元年度は、4,772,335,000円で1,516,458,000円の増となっており、主な増額の理由は、社会教育費では、図書館費につきまして、前年度比で759,974,000円の増額となっております。これは主に、中央図書館耐震補強及び大規模改修工事費を計上したことによるものでございます。

文化財保護費は、前年度比で134,330,000円の増額となっております。これは主に、旧西尾家住宅に係る工事請負費の増によるものでございます。

(仮称) 健都ライブラリー建設費につきましては、前年度比で278,138,000円の増額となっ

ております。これは主に、初度備品購入費の増によるものでございます。

児童福祉費、留守家庭児童育成費における予算増につきましては、主に入室児童数の増加に伴う運営業務委託料の増額と、佐竹台留守家庭育成室と千二留守家庭育成室の増築工事によるものでございます。

なお、令和2年度からの予算科目改編により、令和元年度予算の少年自然の家費は社会教育総務費と自然の家費に統合され、公民館改修費は公民館費に統合されました。

参考としまして、令和2年度吹田市一般会計予算は135,194,733,000円で、対前年度比で8,300,886,000円の増額、率にして約6.54パーセントの増となっております。

また、一般会計に占める地域教育部の予算の割合は4.65パーセントとなり、前年度の3.76パーセントに比べ、0.89ポイントの増となっております。

次に、令和2年度当初予算の歳入につきまして、前年度と比較して1,000,000円以上差が生じている費目につきまして説明申し上げます。

使用料及び手数料のうち、民生使用料、留守家庭児童育成室使用料につきまして、利用者の増を見込み、前年度と比べて21,184,000円の増額としております。

国庫支出金のうち、国庫補助金、民生費国庫補助金につきまして、主に放課後児童健全育成事業に係る、子ども・子育て支援交付金の増、及び、育成室設置に係る、子ども・子育て支援整備交付金の増により、前年度と比べて10,934,000円の増を見込んでおります。

土木費国庫補助金につきましては、北千里小学校跡地複合施設整備事業に充当されるものとして、新たに社会資本整備総合交付金23,000,000円を計上しております。

消防費国庫補助金につきましては、図書館管理事業に充当されるものとして、社会資本整備総合交付金14,213,000円を計上しております。

教育費国庫補助金につきましては、旧西尾家住宅保存活用事業に充当されるものとして、新たに重要文化財建造物修理事業費補助金86,729,000円、こどもプラザ事業及び青少年育成事業に充当されるものとして、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金3,377,000円を計上しております。

府支出金、府補助金、民生費府補助金につきまして、民生費国庫補助金と同様に、主に放課後児童健全育成事業に係る、子ども・子育て支援交付金と子ども・子育て支援整備交付金の増により、7,775,000円の増を見込んでおります。

令和元年度に新子育て支援交付金19,199,000円を計上してはりましたが令和2年度はございません。

子どもの貧困緊急対策補助金は、青少年活動サポートプラザ相談事業に充当されるものとして、18,072,000円を計上しております。

教育費府補助金につきましては、令和元年度に教育コミュニティづくり推進事業費補助金3,281,000円を計上してはりましたが、令和2年度は学校支援活動推進事業費補助金として420,000円を計上しております。

市債の民生債につきましては、留守家庭児童育成室の整備、教育債につきましては、中央図書館改修事業、健都ライブラリー整備事業、旧西尾家住宅保存活用事業及び北千里小学校跡地複合施設整備事業によるものでございます。

続きまして、歳出について御説明申し上げます。

社会教育費でございますが、社会教育総務費は、前年度比で 61,438,000 円の増額となっております。これは主に、人件費の増によるものでございます。

青少年教育費につきましては、前年度比で 5,082,000 円の減となっております。

公民館費につきましては、令和元年度に計上しておりました、旧山手地区公民館解体工事費 20,229,000 円の減がございましたが、令和 2 年度からの公民館長の会計年度任用職員の任用に伴う報酬の増などにより、トータルで前年度比 4,092,000 円の減額となっております。

図書館費につきましては、前年度比で 759,974,000 円の増額となっております。これは主に、中央図書館耐震補強及び大規模改修工事費を計上したことによるものでございます。

青少年クリエイティブセンター費につきましては、前年度比で 7,555,000 円の増額となっております。これは主に、人件費の増によるものでございます。

文化財保護費は、前年度比で 134,330,000 円の増額となっております。これは主に、旧西尾家住宅に係る工事請負費の増によるものでございます。

博物館費につきましては、前年度比で 4,572,000 円の増額となっております。これは主に、施設管理委託料等の増によるものでございます。

生涯学習費につきましては、前年度比で 865,000 円の増額となっております。これは主に、会計年度任用職員に係る報酬の増によるものでございます。

青少年活動サポートプラザ費につきましては、前年度比で 6,105,000 円の減額となっております。これは主に、人件費の減によるものでございます。

(仮称) 健都ライブラリー建設費につきましては、前年度比で 278,138,000 円の増額となっております。これは主に、初度備品購入費の増によるものでございます。

北千里小学校跡地複合施設建設費につきましては、前年度比で 38,645,000 円の増額となっております。北千里小学校跡地の複合施設の建設整備に係る委託料の増によるものでございます。

自然の家費として、主なものとして、指定管理者施設管理委託料及び施設改修費を 228,359,000 円計上しております。

民生費、児童福祉費、留守家庭児童育成費は、主に入室児童数の増加に伴う運営業務委託料の増額と、佐竹台留守家庭育成室と千二留守家庭育成室の増築工事により、前年度比で 107,972,000 円の増額となっております。

令和 2 年度からの債務負担行為でございますが、山二留守家庭児童育成室増築工事に係る実施設計業務をはじめ、10 の業務につきまして設定しております。

以上が、令和 2 年度地域教育部当初予算案の説明でございます。

広瀬議長：ありがとうございます。ただいま御説明いただきました当初予算案につきまして御質問等ございますでしょうか。

府からの補助金の教育費府補助金ですが、前年度は教育コミュニティの関係で 3,281,000 円だったということですが、今年度は学校支援活動推進事業補助金で 420,000 円ということなのですが、この教育コミュニティづくり推進事業費補助金というのはどういうものに使われたの

でしょうか。

前田室長：教育コミュニティづくり推進事業費補助金というのは、主に地域教育協議会といたしまして、中学校区で地域教育コミュニティを進めるための組織を作っていきますという趣旨で団体の補助金として使われています。例えば、主な事業としては、太陽の広場といたしまして各小学校で放課後の居場所として提供している事業に使わせていただいています。吹田市が中核市になり、これまで府を経由していただいていた補助を直接国からいただくことになりまして、学校支援活動推進事業補助金に変わったということです。

広瀬議長：ありがとうございます。何かこの機会に聞いておきたいことなどがありましたら遠慮なく聞いていただけたらと思います。大規模施設の改修、補修の費用であるとか、新規の施設の建設費等がありますので大きな予算を見込んでいる形になっているようです。それでは、各室課から補足説明をお願いします。

小西課長：まず、まなびの支援課から説明いたします。まなびの支援課からの予算としては、社会教育総務費、公民館費及び生涯学習費の3つの予算科目につきまして所管をしております。社会教育総務費につきましては、先ほど説明しましたように人件費の増ということで、これまで職員数47ということで、平成31年度、令和元年度までは、まなびの支援課、青少年室、放課後子ども育成課の職員数が対象となっておりますが、それに加えまして指定管理になります少年自然の家が自然の家が変わりまして、その職員の分をこちらに加算したため人件費が増額となっております。続きますが公民館費ですが、結果としてトータル4,000,000円ほど減額となっております。こちらの減額は平成31年度、令和元年度に旧山手地区公民館につきまして解体工事を行っております。その予算が約20,000,000円超ありまして、これが令和2年度には無いということで減額となっております。プラスになっている要素は、報酬の所で会計年度任用職員報酬ということで公民館長の報酬が若干上げられております。会計年度任用職員になることによって公民館長の本給の方は上がらないのですが、時間外勤務手当を計上しており、約12,000,000円トータルとして上がっております。役務費の所では、公民館に設置するフリーWi-Fiの経費が含まれています。平成30年度に試験的に6館で設置をさせていただきまして、令和2年度につきましては12館分の予算が計上されています。合計で29館ありますので、予定としては令和3年度までに全館、残りを令和3年度に計上して29館、分館全てにWi-Fiを設置したいと考えております。生涯学習費につきましては、合計としては、それほど増えておりませんが、新たな拡充事業というかたちで今回認められています。報償費のところ、吹田市民大学講師謝礼金について、これまで、吹田市民大学講座を関西大学と千里金蘭大学、大阪学院大学の3校と連携して実施してきましたが、令和2年度から大和大学とも連携した講座をするということになりましたのでその費用を計上しております。まなびの支援課からは以上です。

長 館長：図書館から説明いたします。図書館費と健都ライブラリー建設費が所管分となります。先ほどから説明しておりますように図書館では、中央図書館の耐震補強や大規模改修で予算が増えております。その中には改修とともに閲覧室を拡充したり、書庫を拡充したりします

ので備品購入費として主に本棚の購入費も入っています。

それから、健都ライブラリー建設費につきましては、令和2年11月完成ということで建設費の他に初度調弁としての本棚等の備品は49,000,000円、資料費は100,000,000円強の予算がついております。以上でございます。

坂原課長：文化財保護課から説明いたします。所管は、文化財保護費と博物館費になります。

まず、文化財保護費ですが、134,330,000円の増ということですが、昨年までは職員が14名でした。令和2年度からは、15名ということで1名の純増ということです。15,037,000円の増です。その他、旧西尾家住宅の工事請負費が117,700,000円の増となります。

博物館費ですが、博物館の屋上防水工事及び外壁の改修工事の実設計委託料で7,396,000円の増です。博物館は紫金山公園の中にありまして、北側に名神高速が走っています。その間に雑木林がありまして、伸び放題になっておりましたが、今年の台風等により枝が折れて飛ぶというようなこともありまして、臨時的に剪定費用、3,705,000円を計上しています。昨年と比較して修繕料等の減がありますので、差し引きして4,572,000円の増ということになっております。説明は以上でございます。

一之瀬館長：青少年クリエイティブセンター費について説明いたします。吹田市岸部中に位置する青少年施設であります青少年クリエイティブセンターですが、当初予算は113,094,000円で前年度比約7%の増額です。主に人件費が増加したということになります。特に特色のある事業はしておりませんが、主に施設を管理するというので施設管理事業として約44,000,000円予算計上をしています。建物が40年近く経過して老朽化しているということもございまして、主に青少年が利用する施設ということで安心・安全に利用してもらえるように施設の維持管理に努めるということで予算を組んでいます。また、施設の運営事業ということで年間30ほどの事業のプログラムを組んでおりますけれども、そういった事業の開催に係る経費ということで約17,000,000円を計上しております。以上でございます。

高島参事：青少年室から説明いたします。青少年教育費、自然体験交流センター費、青少年活動サポートプラザ費及び自然の家費を所管いたしております。

青少年教育費におきましては、事業の大きな変動はございませんが、実施内容につきまして、成人祭は、ここ2年間はメイシアターが工事中ということでホテル阪急エキスポパークを使用しましたため、会場の使用料が2百数十万程度かかっておりましたが、令和2年度におきましては、メイシアターの工事が完了しているであろうということで、そうした費用が削減されています。また、吹田市と若狭町との児童の交流会を毎年実施しておりますが、開催場所は吹田市と若狭町で交互に行っています。令和2年度は、若狭町の子供達を吹田市が迎えるということになっておりますので、現地へ子供達を連れて行く等の費用が不要というようなこともございます。

自然体験交流センター費の委託料につきましては、大きな変動はございません。

青少年活動サポートプラザ費におきましては、青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザ、山田駅前図書館が入っております子育て青少年拠点夢つながり未来館が、平成23年3月の開館以来令和2年度に開館10周年を迎えることもございまして、記念事業として消耗品費、あるいは著名な方にお越しいただいての講演等に係る報償費といったものを数十万程度措置

させていただいています。

最後に大きなところでは、自然の家費という、新たな予算費目が起こされております。従来少年自然の家を、青少年教育施設として運営してまいりましたが、令和2年4月以降は、条例改正に伴い、幅広い年代の方に利用いただける生涯学習施設として生まれ変わるとともに指定管理者制度を導入するというごさいまして、必要な委託料を措置しております。合わせまして、昭和55年の開設以来、相当年月が経って施設が老朽化しておりますので今年度の間仕切り工事等に行きまして、令和2年度におきましては、空調の改修工事として、新たに宿泊施設に空調設備を設けていくという工事、またトイレを今は和式の便器が多い状態のごさいますけれども、洋式便器が多いかたちに改修していこうということで約150,000,000円の工事費を措置させていただいております。主なものは以上のごさいます。

山本参事：放課後子ども育成課から報告させていただきます。まず、歳入に関しまして御説明申し上げます。留守家庭児童育成室使用料のごさいますが、主な増加の要因は、利用者の増にあるのですが、その他に令和2年7月からの使用料の改定に伴います約5,000,000円増も含まれております。

続きまして、歳出ですが、留守家庭児童育成費の主な増の要因となっております佐竹台留守家庭児童育成室と千二留守家庭児童育成室の増築工事なのですが、学校の増築工事と合わせて行っておりまして、佐竹台の育成室に関しましては、令和元年から令和2年、千二育成室に関しましては、令和2年から令和3年のそれぞれ債務負担で工事を行う予定となっております。以上のごさいます。

小西課長：まなびの支援課ですが、一つ報告を忘れておりました。北千里小学校跡地複合施設建設費ですが、こちらは、公民館、図書館、それと市長部局である児童館を3館併設するというごさいまして、これまでも何回か御説明させていただいたかと思っております。これにつきまして、令和元年度から令和2年度にかけて、基本計画、基本設計、実施設計ということで約1億の契約を、契約自体は64,800,000円の契約をさせていただいております。その2年目ということで予算としては約67,000,000円が計上されております。内容としましては、建設に係る実施設計費が主なものとなります。以上のごさいます。

前田室長：さきほど、青少年室から歳入の説明をさせていただきましたが、付け加えて、自然の家の使用料がわずかですが上がっております。これは、今まで直営の時には市外の方だけだった使用料が令和2年度からは、市民の方も18歳以上の方は有料となりますので、それを見越して多めにつけさせていただいております。

広瀬議長：ありがとうございました。補足も含めまして、予算の内、特徴のあるものにつきまして事業内容に即して詳細を御説明いただきましたが、何か御質問等ございませうでしょうか。項目も多いので今すぐと言われても難しいところもあるかもしれませんが、何かお気づきのことがあれば後ほどでも結構ですので御意見等をいただければと思います。

それでは、次の次第に進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

それでは、次第の3 「令和元年度補正予算について」を事務局から御説明をお願いします。

3. 令和元年度 補正予算について

曾谷課長代理：令和元年度補正予算案の地域教育部所管分について御説明申し上げます。

まず、歳入の補正につきまして御説明申し上げます。

初めに、教育使用料・自然体験交流センター使用料につきましては、使用料収入が当初見込みを上回ることにより、1,000,000円を増額するものでございます。

民生費府補助金につきましては、子どもの貧困緊急対策事業費補助金20,000,000円を、指定寄附金につきましては、旧西尾家住宅大規模修繕基金への寄附金として5,003,000円を新たに計上しております。

雑入、教育債につきましては、それぞれ当初見込みを下回ったものを減額、上回ったものを増額するものでございます。

次に、歳出予算の補正額でございます。これは、主に今後の予算執行見込みのないものを減額するものでございます。

給料、職員手当等及び共済費の人員費につきましては、当初予算の積算が平成31年1月を基準としているため、その後の人事異動、育児休業等により差額が生じたこと等により、調整するものでございます。

また、委託料、工事請負費につきましては、入札や契約により差金が生じたため不用額を減額するものでございます。

留守家庭児童育成費でございますが、61,890,000円の減額は、主に留守家庭児童育成室指導員の報酬と、育成室事業、及び育成室運営委託事業に係る委託料が当初予算を下回ったため不用額を減額するものでございます。

続きまして、債務負担行為補正でございますが、藤白台留守家庭児童育成室運営業務につきましては、委託料の支払い総額が当初設定の限度額を超過する見込みであるため、追加で債務負担行為の設定を行うものでございます。東留守家庭児童育成室運営業務及び高野台留守家庭児童育成室運営業務につきましては、事業者の選定に至らなかったため、債務負担行為の廃止を行うものでございます。

育成室管理事業につきましては、千里第二小学校プール解体工事が年度内に完了しない予定のため、工事請負費及び委託料として、2,652,000円を令和2年度に繰り越しいたします。

以上、令和元年度地域教育部の補正予算案の説明でございます。

広瀬議長：ただいまの補正予算案の説明について、何か御質問等ございますでしょうか。

特にございませんでしょうか。ないようでしたら、御確認いただいたことにさせていただきます。

次に次第の4、「その他」について事務局より説明をお願いします。

3. その他

小西課長：まなびの支援課から報告をさせていただきます。

まなびの支援課では、平成25年度から夢と希望を広げる出会い事業ということで公立の小中学生の方を対象に、吹田に所縁のある著名な方に講演もしくは実技指導をしていただいてこれからの人生、夢を持って目的を持って生きていただくことを考えていただくプログラムを実施しております。2月11日、建国記念の日に、今回ここにいらっしゃる皆様も御存知だと思いますが、シドニーオリンピックの女子マラソンの金メダリストで女子スポーツ界初の国民栄誉賞受賞者の高橋尚子さんが、大阪学院大学の特任教授であり、同大学の卒業生ということもありまして、同大学のグラウンドで吹田の中学校の陸上部の生徒さんを集めてランニングプログラムということで約2時間に亘って指導していただきました。その様子につきまして、10分程度ですがまとめておりますので御覧いただけたらと思います。

《ランニングプログラム映像（抜粋）上映》

小西課長：今御覧いただきましたように、中学生につきましては、最終的に7校63名の方が来られました。また、映像にも映っていたと思いますが、スタッフとして準備していただいた大阪学院大学の陸上部の方も一緒に講義を受けられました。前半1時間は、最初にしていただいていた腹筋の基礎的なストレッチ、残りの1時間で走る形でのトレーニングということで、目一杯御指導いただきました。御本人様も非常に気さくな方で、本当にテレビに出ているままの方でした。今回も写真撮影や動画撮影もフリーということで撮影できました。この夢と希望を広げる出会い事業については、中学生対象の事業は少なく小学生が対象になることが多いのですが、今回は中学生の方に入らせていただきまして、是非この中から将来また事業で講師をしていただけるような方が出ていただければ、本当にありがたいなあと思いながら実施させていただきました。本当に大阪学院大学の協力の下、今回このような事業ができました。正直に言えば当初高橋尚子さんが大阪学院大学卒業ということで吹田に所縁があるということで、この事業が始まって翌年ぐらいにプロダクションに連絡を取ったのですが、その時は断られた経緯がございます。今回は、東京2020、オリンピックのイベントも兼ねているということで快くお引き受けいただきました。今後とも、こんなビッグネームの方が来られるということはありませんが、是非とも引き続き吹田の小中学生の将来にいい影響を与えるような講義というのを続けていければと思っております。今回特に大きな形でできましたので報告させていただきます。

山本委員：場所はどこですか。

小西課長：大阪学院大学の岸部南の方にグラウンドがありまして、そちらで実施させていただきました。

山本委員：人工芝ですね。

小西課長：はい、そうです。

山本委員：総合運動場もそんな形でできています。今工事中で4月から運営されると聞きました。

広瀬議長：ありがとうございました。他の室課からも追加で何か報告等ございますか。

山本委員：コロナウイルスについては、何もないですか。

小西課長：昨日、コロナウイルスにつきましては、15時から本部会議を行いまして、お聞き及びになら

れている方もおられるかと思いますが、本日2月20日から3月末まで、市が主催する事業で市民を対象としている事業、催し、集まりにつきましては、原則として中止もしくは延期するようという形で吹田市として方針が決まっております。ただ、この時期ですので、小中学校では卒業式等ございます。これについては、実施する方向ということです。それに準ずる形でどうしてもこの時期にしなければならないイベントにつきましては感染しないように細心の配慮をした上で実施をするものとするという形で個々に対応するということになっております。現在地域教育部でも基本的には不要、不急というか、この時期でないとは絶対できないという形の主催講座を除きましては、原則として3月末まで中止もしくは延期ということで、こちらの南千里地区公民館でもエレベータを降りていただいたら正面の所にその通知を掲示させていただいております。その他、学校につきましては当然授業等がございます。学校に関連する部分として、地域教育部で言えば、青少年室の太陽の広場とか、学童保育につきましては、引き続き細心の注意を払った形で実施をしていくということになっております。昨日からの対応状況は以上となっております。

広瀬議長：ありがとうございます。その他何か、この機会に御質問等ございますでしょうか。

それでは、本日予定していた案件は以上となります。最後に落次長より一言御挨拶いただければと思います。

落次長：本日はお忙しい中、またお寒い中、社会教育委員会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。今日御報告させていただきました2月議会に提出しております令和2年度当初予算や元年度の補正予算ですが、本日から開会いたしました議会で承認いただいた上で取り組んでいくこととなります。来年度の事業につきましては、各担当から御説明させていただきましたが、大きなところで言いますと、健都ライブラリーがこの秋に開館いたします。同様にこの秋に現在改修工事を行っております中央図書館が、再オープンします。また、自然の家を教育施設から生涯学習施設に変更し対象者を広げ、建物のトイレ、空調設備等の改修をしております。公民館では今年度よりWi-Fiの設置をはじめたのですが、令和2年度に更に12館増設してより使い勝手がいいようにしていきます。また、竣工は来年度ではないのですが、北千里小学校跡地では児童館、図書館、公民館の複合施設の開設を目指して実施設計委託料を計上させていただいているところでございます。このような取組を通じて社会教育行政を盛り上げて、もっと良くしていきたいと思っておりますので、委員の皆様には引き続き御指導、御鞭撻いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

広瀬議長：ありがとうございます。その他事務局からの連絡事項等についてお願いします。

小西課長：次回の社会教育委員会議につきましては、日時、場所がまだ確定しておりませんが、4月に開催を予定させていただきたいと考えております。決まり次第連絡をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

広瀬議長：それでは2月の社会教育委員会議をこれで閉会させていただきます。ありがとうございました。